

|      |  |      |       |
|------|--|------|-------|
| コース  | ソフトウェアデザイン                               | 指導教員 | 光来 健一 |
| 学生番号 | 212C1046                                 | 氏 名  | 梶原 悠大 |
| 論文題目 | RISC-V における Confidential VM の柔軟かつ効率のよい監視 |      |       |

## 1 はじめに

IaaS 型クラウドが普及しているが、クラウド内には内部犯がいる可能性があり、仮想マシン (VM) の機密情報を盗聴される恐れがある。そのため、最近のクラウドは TEE と呼ばれるハードウェアで保護された Confidential VM を提供するようになってきている。Confidential VM のメモリは暗号化されているため、クラウドの内部犯でさえメモリを盗聴できなくなる。近年、命令セットアーキテクチャがオープンソースで提供されている RISC-V が注目されており、VM を動かすためのハイパーバイザ拡張や Confidential VM 拡張 (CoVE) も提供されるようになってきている。CoVE はメモリが隔離された TEE VM (TVM) を Confidential VM として実行することができる。しかし、TVM 内に侵入されると機密情報の盗聴を防ぐことができない。そのため、TVM の外から安全に TVM 内のシステムの監視を行えるようにする必要があり。

本研究では、RISC-V CoVE において TVM の柔軟かつ効率のよい監視を実現する TVMmonitor を提案する。

## 2 TVMmonitor

TVMmonitor は図 1 のように監視用 TVM で監視ソフトウェアを実行し、共有メモリを用いて監視対象 TVM の OS から情報を取得することにより監視を行う。CoVE では TEE セキュリティマネージャ (TSM) が TVM のメモリのアクセス制御を行い、信頼できないホスト VM 内で動作するハイパーバイザが TVM の管理を行う。監視用 TVM を用いることで、TSM で監視を行うよりも柔軟に監視を行うことができる。また、TVM 間で共有メモリを用いて情報を取得することにより、仮想ネットワークを用いて通信を行うより高速に監視を行うことができる。

CoVE では TVM 間でのメモリ共有はサポートされていないため、TVMmonitor は TVM のメモリを安全に共有する機構を提供する。TVM のメモリページの属性は標準ではその TVM しかアクセスすることができない「専用」になっているため、共有したいページの属性を「共用」に変更す

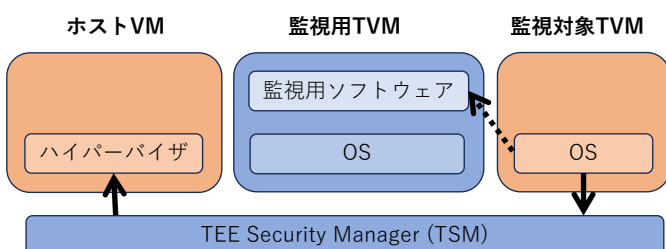


図 1. TVMmonitor のシステム構成

る。そのために、監視用 TVM と監視対象 TVM はそれぞれ SBI ecall を用いて TSM を呼び出し、ページの属性を変更する。それに加えて、TSM からホスト VM 内のハイパーバイザを呼び出し、指定されたページを TVM 用の共用ページリストに登録する。

次に、監視用 TVM のページを監視対象 VM と共有する。まず、監視用 TVM は TSM 経由でハイパーバイザを呼び出し、属性を共用に変更したページを登録する。一方、監視対象 VM はハイパーバイザを呼び出し、その TVM 用の共用ページリストの中のページを登録された監視用 TVM のページで置換する。特定の監視対象 TVM だけがメモリを共有できるようにするために、ページの登録時と置換時にそれぞれの TVM にキーを指定させ、キーが一致する時だけ TSM がページの置換を許可する。

## 3 実験

TVMmonitor を用いて TVM 内のプロセスの一覧が取得できることを確認する実験を行った。CoVE に対応した実機がまだないため、QEMU 上で RISC-V CPU と CoVE のエミュレーションを行った。本実験では、TVM 間で共有メモリを介した通信を行うカーネルモジュールを実装した。監視用 TVM が共有メモリにプロセス一覧の要求を書き込むと、監視対象 TVM が共有メモリにプロセス情報を書き込む。これらのカーネルモジュールを実行すると、図 2 に示すようにプロセスの一覧を取得して表示することができた。また、図 3 に示すように、指定されたキーが一致しない時にはメモリが共有できないことを確認した。

```

/host/root # insmod TVM1.ko
[ 61.281112] TVM1: loading out-of-tree module taints kernel.
[ 61.281112] TVM1: loading out-of-tree module taints kernel.
[ 61.335775] key = 4294967205
[ 61.335775] key = 4294967205
[ 62.848604] 1: init
[ 62.848604] 2: kthreadd
[ 62.848604] 3: rcu_gp
  
```

図 2. プロセス取得の一覧

```

/host/root # insmod TVM2.ko
[ 46.796121] TVM2: loading out-of-tree module taints kernel.
[ 46.796121] TVM2: loading out-of-tree module taints kernel.
[ 46.855675] key = 4294967290
[ 46.855675] key = 4294967290
[ 46.856988] Cannot share memory
[ 46.856988] Cannot share memory
  
```

図 3. キーが異なる場合

## 4 まとめ

本研究では、RISC-V CoVE において Confidential VM の柔軟かつ効率のよい監視を実現する TVMmonitor を提案した。今後の課題は、信頼できないハイパーバイザが共有メモリを読み書きできないようにすることである。